

(一社)日本詩人クラブ 2026年 10月 例会のご案内

日時 2026年10月10日(土) 14時～17時

資料代500円

会場 今井館聖書講堂

司会 岩重桃平

●会員による詩の朗読 水無川渉 稲垣明宏 柊月めぐみ

●講演

「日本語の不思議」

日本聖書神学校講師 柴崎 聰

要旨:

私は、言語学者でも日本語学者でもありません。20歳の時から、ひたすら日本語の詩を書き継いできた者です。私たちの先祖は2000年前には音声だけで意思疎通を図っていましたが、そこに漢字という武骨で堅固な文字が否応なく浸入してきました。文字を持たなかった和語は萎縮し混乱し貧しくなったかのように見えます。「漢字」を母胎として「ひらがな」や「カタカナ」が誕生し、和語が持つ柔軟な力で果敢に漢字語に挑み、折り合いをつけてきました。その苦闘の歴史を断片的にでも振り返り、日本語の持つしぶとさ・不思議さにまなざしを向けて行こうというのが、今回の講演の趣旨です。日本語はこれからどうなっていくのでしょうか。何を継承し何を淘汰していくのでしょうか。貴重な財産でもある先達の詩作品に導かれて、ご一緒に考察していきたいと思えます。

講師プロフィール:

1943年、仙台市生まれ。1967年、慶應義塾大学法学部法律学科卒業。1967-2008年、2つの出版社で編集者として活動。博士(総合社会文化)。現在、日本聖書神学校講師。日本現代詩人协会会员、日本詩人クラブ会員、日本キリスト教詩人协会会员、日本キリスト教文学协会会员。『香りの舟』『文脈に立つ短剣符(土曜美術社出版販売)など12冊の詩集を出版。評論として『詩人は聖書をどのように表現したか』『石原吉郎と安西均』(新教出版社)など5冊、加えて『石原吉郎セレクション』(岩波書店)の監修、解説を務めた。

* 例会終了後懇親会を行います。

どなたでもご参加ください。 会費 4,000円

例会・国際交流理事 丹羽京子

TEL090-1107-1199

papiya.kn@gmail.com

NPO法人今井館教会会 今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込6-11-15

●JR山手線 駒込駅 南口 徒歩11分

●地下鉄南北線 駒込駅 2番 徒歩8分

●地下鉄都営三田線 千石駅 A4 徒歩5分

六義園をめざしてください。六義公園運動場側です。

